

## 単元名 めざせ、フードマイスター！

目指す児童像「動く・楽しむ・切り拓く」

### 1. 単元目標

食に関する問題について、現状や要因を調べ、解決に向けた活動を通して食に関する問題が自分、家族、地域の人、1人1人の考え方や日常生活における行動と深く関わっていることに気付き、探求を通して得た学びを自らの生活や行動に活かそうとしたり、広めたりしようとする。



本単元の本質的な問い

100年後も人は幸せな食生活を送ることができるのだろうか？

### 2. 探究ストーリー（児童の実態、ストーリー、材の価値、教師の願い）

昨年度児童は、総合的な時間の学習で、自然災害に対する地域の防災について学んできた。そこでは、町の防災について様々な方法で調べたり、体験活動をしたりして、防災において必要なことや災害時に自分たちができることを考えた。また、非常食にも目を向け、災害時に人々が生き抜くための必要不可欠な食糧や栄養素についても学び、ICTを活用してまとめた学びを防災イベントで発表した。

今年度は、5年生から始まる新たな教科「家庭科」や国の産業について学習する「社会」などと親和性の高い「食」に着目し、探究学習を行う。身近な食である「給食」を探究の入り口とし、「食べること」が自分の体や人生においていかに大切なことか考えを深めた後、2030年問題にもあげられている食糧問題に発展させていく。家庭、市の給食センターや企業、他県の学校などに協力を依頼し、多様な考えを共有することで広い視野をもてるようにしたい。その上で、論理的に考える力を育成するため、データから課題を読み取り、データに基づいて意見を交流したり、クリティカル（批判的）→ラテラル（水平）→ロジカル（論理的）な思考をもとに考えたことを実際に検証することで学びを深化させたりしていきたい。また、先端技術を活用して食が抱える諸問題の最適解を探るために様々な実践をしながら、人生100年時代と言われる未来の「食」を、ウェルビーイングの視点で捉え、探究するとともに、自分たちが創造したものを具現化し様々な方法で表現していく「学びの面白さ」も味わわせていきたい。

### 3. 予想される活動と終末

食に関する問題について、現状や要因を調べ、問題が様々な要因によるものであることを理解するとともに、個人、学校、家庭、地域それぞれの立場に立って多面的・論理的に解決していく方策を考え、相手意識をもってみんなで食糧問題を解決していこうとする心情を育成できるようにする。また、日本や世界規模の食糧問題だけではなく、それが身近な生活に深くかかわっていることにも目を向け、それらを解決していくために自分たちができることを仲間と試行錯誤しながら考え、自分の生活で実践したり、周りに広めたりしていく。その際、学んだことを誰に、何のために伝えたいかを明確にしたうえで、Aやプリンター、ICTを活用して成果物を作成し、世界食料月間や市民文化祭、すなはらまつり等で伝えることが考えられる。また、他校との連携を活用して、「小学生による食糧問題の解決に向けた交流フォーラム」を開催することも考えられる。

課題を自分事として捉え、探究的に学ぶ過程を仲間とねばり強く楽しみながら食糧問題について向き合う中で学んだことを自分たちの生活にもつなげて考え、学びを通して児童が自ら社会参画できるような表現活動を選択していく。

#### 4. 本単元を通して育みたい資質・能力と具体の姿

育みたい 資質・能力	探究力	自己決定力	論理力
具体の姿	食に関する問題に興味をもって、自ら様々な方法で情報を集めたり、実際に検証してみたりしながらねばり強く探究し、自分なりの最適解を効果的に発信することができる。	持続可能な食に関する事柄の中から課題を見出し、それを解決するための最適な手段や方法を自分で選びながら探究することができる。また、探究を通して得た学びを、自己の生活に活かしよりよい生き方を創造することができる。	食に関する問題を解決するために、必要な過程を順序だてて考え計画性をもって自己の学びを進め、色々な物事を関連付けて考えたり、批判的な思考を働かせて分析したりすることで、新たな考えや課題の解決方法を論理的に考えることができる。

#### 5. 評価規準

資質 能力	探究力				自己決定力			論理力			
	課題 設定 力	行動 力	情報 収集 力	まとめ・ 表現力	協働 力	社会参 画力	修正 力	段取 り力	知識・ 技能の 活用	データ 分析力	ふりか える力
評価 規準	①食に関する問題について目を向け、情報の中から自分なりの課題を見出したり、探究の中で自らの考えや課題を更新したりすることができる。 【課題設定力】	②「なぜだろう」「どうしてだろう」という視点を常にもち、師範的な思考をもとに実際に検証することができる。 【行動力】	③食に関する問題に興味をもち、多様な方法で、より正確な情報を集めることができる。 【情報収集力】	④目的意識・相手意識をもって、最適な方法で表現することができる。 【まとめ・表現力】	①様々な人たちの意見を尊重し、自分の意見に反映しながら協力して探究を深めることができる。 【協働力】	②学んだことをもとに、今後の食生活や自分の生き方について考えたり、行動したりすることができる。 【社会参画力】	③計画通りに進まなかった際でも、課題解決に向けた新たな方法を見出したり自ら学びを調整したりすることができる。 【修正力】	①食に関する課題の解決に向け、計画を順序立てて考えたり、自ら計画を調整したりしながら探究を進めることができる。 【段取り力】	②食に関する物事や人との関わりを知ることで、人々の思いや努力・工夫が食をよりよくしていることを理解している。 【知識・技能の活用】	③集めたデータを比較したり、分類したり、関連付けたり、多面的に見たりしながら、自分の考えをもつことができる。 【データ分析力】	④これまでの学びのよさと課題を見つけることができる。 【ふりかえる力】



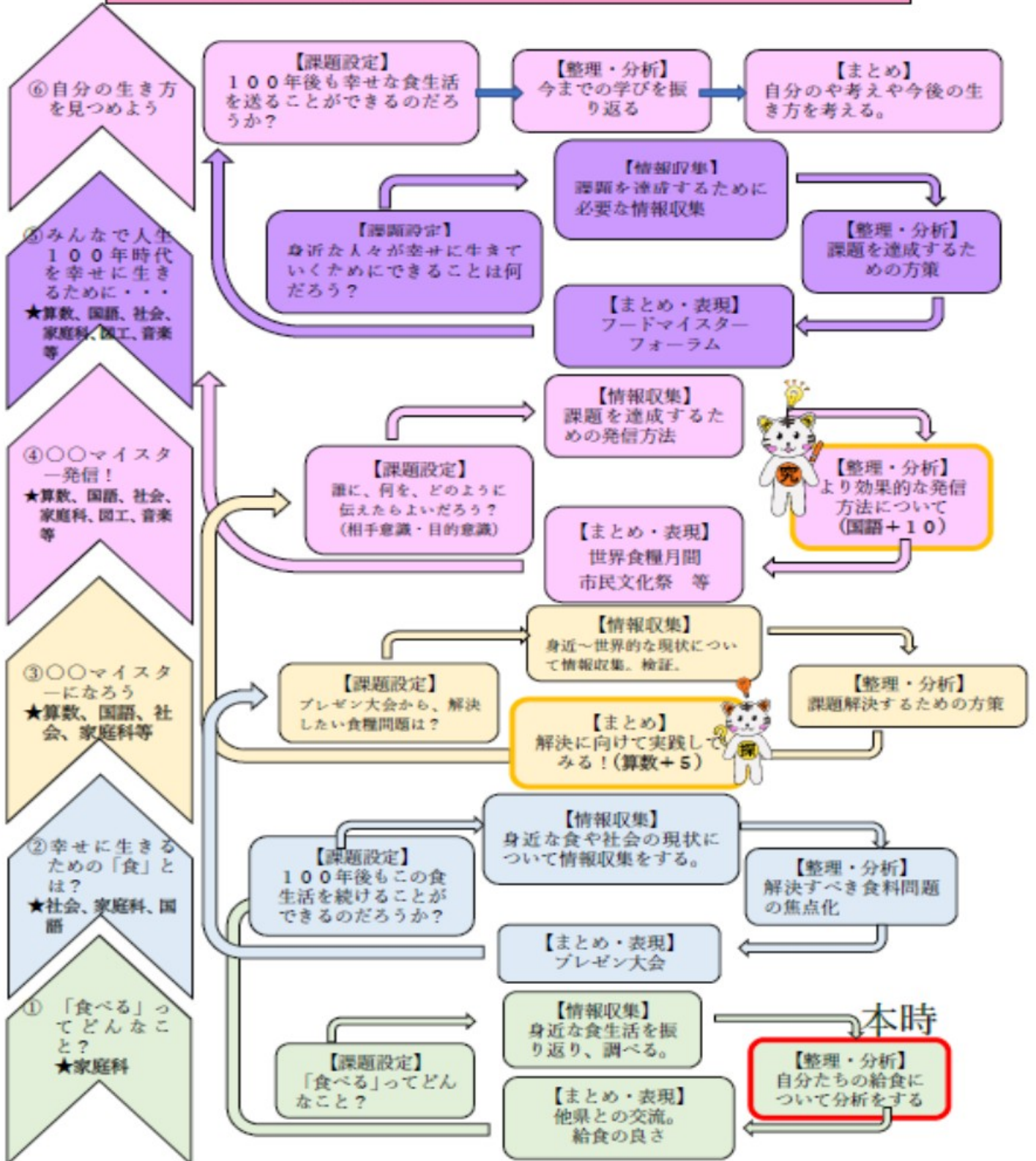
6. 単元構想 単元スパイラル図

単元構想 単元スパイラル図  
「めざせ、フードマイスター!!」

目指す児童像

動く、楽しむ、切り拓く

100年後も人は幸せな食生活を送ることができるのだろうか？



## 7. 学習の足跡

過程	○主な学習活動 ・ 児童の思考	◎伴走者としての関わり ○【評価】 ■先端機器活用◆STEAMの視点 ☆社会とのつながり※教科横断
----	-----------------	--

★本単元の本質的な問い

100年後も人は幸せな食生活を送ることができるのだろうか？

スパイラル1  
1～13時

+ 家庭科2時間 + 国語1時間 + 社会1時間

★「食べる」ってどんなこと？

【課題設定】

- 「食べること」について考える。
  - ・生きるために必要
  - ・成長に必要
  - ・好きなものを食べると幸せな気持ちになる。
  - ・苦手な物は食べたくない。
  - ・生き物から栄養をもらっている。
  - ・食事を作るためには食材が必要。
  - ・野菜やお肉を作っている人がいる。

<キーワード>

食べることで生きるための栄養を摂取している。  
おいしいものを食べると幸せな気持ちになる。  
食材を作っている人がいる。



○栄養素について知る。

- ・食べ物には、五大栄養素がある。
- ・学校の給食の献立を見ると栄養バランスがよく考えられているな。
- ・自分の普段の食事は偏っている日があったな。

4月 23日(日) 食事メニュー



◎課題意識の種まき

日々当たり前前に繰り返している「食べること」について、ウェビングマップを使って考えることで、「食」に対するイメージやそこに関連する知識を可視化する。



■ Google Jamboard

☆教科横断

家庭科「食べて元気に」

2時間 (栄養素)

→五大栄養素を知り、食品に含まれる栄養素の体内での主な働きがわかり、食品のグループ分けと栄養バランスの良い食事の仕方がわかる。

◎1番身近な食である給食と、自分の日々の食事を比べることで、給食の良さや栄養をバランスよく取ることの難しさ、大切さについて気付けるようにする。

■ Google スライド

→給食に使われている食材をYチャートで整理

○生命を維持するために食は欠かせないものであり、栄養をバラ



## 本時

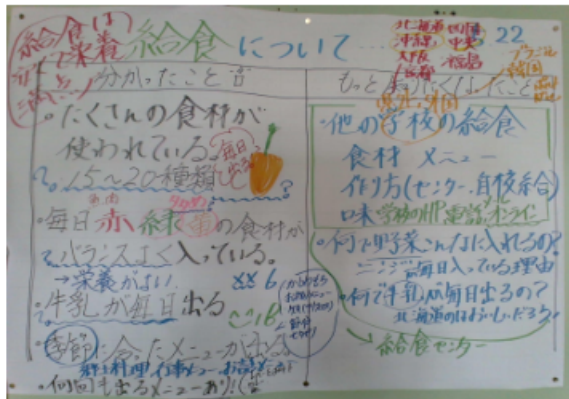
### 【情報収集】

○久喜市の給食について調べる。

- ・赤、緑、黄色の食材がバランスよく使われている。
- ・牛乳が毎日出る。
- ・季節に合った食材も使われている。
- ・よく出るメニューもあるよ。
- ・郷土料理やお話メニューなど、メニューの工夫もしている。

<もっと知りたいこと>

- ・他県の給食について（メニュー、食材、作り方、味 等）
- ・なぜ毎日ニンジンが使われているのか。
- ・なぜ牛乳を毎日出すのか。



### 【整理・分析】

○集めた情報を、比較したり分類したり、関連付けたりして、久喜市の給食のよさを見つける。

- ・栄養バランスや消費エネルギーを考えて作られている。
- ・美味しく食べられるよう、工夫されている。
- ・郷土料理や季節のメニューなど、色々な食文化にふれられるようにしている。

### 【まとめ・表現】

○他県の小学生と、給食について交流する。

- ・他県も久喜市と同じような給食を食べているのだろうか？

<場所の選定>

- ・北海道、沖縄、四国など気候や土地の様子がぜんぜん違う場所の給食も、久喜市と同じような給食なのか知りたい。
- ・社会で勉強した木曾三川の近くにも繋がれそうな学校はないかな。
- ・ホームページを検索して、ICTを使っていそうな学校を調べてみよう。

<交流できそうな学校にコンタクトをとる>

- ・メールアドレスを確認し、伝えたい内容が伝わるよう文

スよくとることが大切だということを理解することができる。

【知識・技能】

チャートを使って「赤」「黄」「緑」の食材に分類

■ Google Jamboard

→自分が食べた食事調べ

### ☆教科横断

社会「私たちの生活と食糧生産」（各地の給食）1時間

→各地の伝統的な献立を生かした給食について調べ、地域に対する愛情が持てるようにする。また、日本の将来的な食料生産のあり方について考えることができる。

◎児童にとって身近な食である「給食」を切り口に、食に関する基礎的な知識や給食の素晴らしさを感じられるようにする。

◎給食についてもっと知りたいことを考えさせることで次の課題に向かう。

◎給食は、栄養バランスやエネルギーを考え、栄養士さんが工夫して作っていることを理解することができる。【知識・理解】

◎久喜市公式Youtubeチャンネルの動画や、給食センターへのインタビューなど多様な方法で情報を収集できるようにする。

◎集めた情報を整理分析する際、役立つよう、思考ツールを自由に使えるようにしておく。

◎各班の考えにそって分析できるようファシリテートする。

◎集めたデータを比較したり、分類したり、関連付けたり、多面的に見たりしながら、自分の考えをもつことができる。

【データ分析力】

■ Google スライド、Jamboard

◎どんな場所の給食のどんなことを知りたいか、目的を明確化しておく。

◎他県の学校とコンタクトをとるための調整や給食センターとの連絡を行う。


◎自分ごととして捉えさせる

☆教科横断

国語「手紙・メール心をこめてわかりやすく書く」（中2）

国語「お願いやお礼の手紙を書こう」1時間

→電子メールを書く上で必要な基本形式・具体的な書き方を知

	<p>章を書いて送ろう。</p>  <p>&lt;連絡が取れた学校と交流をする&gt;      ・久喜市の給食についてまとめた制作物をもとに、他県の学校と給食について交流をする。</p>	<p>り、目的に合わせて書く内容を考える。</p> <p>◎「給食のことで交流をしたい」経緯や趣旨、お願いしたいことなどが相手に伝わるような文章作成を支援する。  <b>【情報リテラシー】</b></p> <p>○相手意識をもち、伝えたいことを明確に発表することができる。  <b>【まとめ・表現力】</b></p>
<p>スパイラル 2 14 ～ 30 時</p>	<p>★100年後もこの食生活を続けることはできるのだろうか？</p> <p>○人生100年時代の食糧問題を知る。      ・食糧危機（飢餓）      ・生産量の低下（農家不足）      ・たんぱく質の不足      ・異常気象による不作      ・フードロス 等      ○食糧問題について調べる。      ○解決したい食糧問題についてさらに探究する。      ○プレゼン大会を行い、解決すべき食糧問題の焦点化を図る。</p>	<p>◎給食を切り口にして学んだ食の大切さをもとに、未来の食が抱えている問題のデータを提示する。→データからの読み取り      ◎2030年問題（食糧危機問題など）についての情報を示し、食の問題についての危機感をもたせる。（問題意識）      ・STEAMライブラリー      →食糧問題の動画やデータ活用</p>

8. 本時の学習（7/80時間）

(1) 目標

他県の小学生に伝えたい久喜市の給食についての内容を分類したり、関連付けたり、多面的に見たりしながら、自分の考えをもつことができる。【データ分析力】。  
 今後の取り組みについての計画を順序立てて考えることができる。【段取り力】

【資質・能力】

(2) 評価規準（ルーブリック）

3	2	1
<p>思考ツールを使って久喜市の給食について、伝えたい内容や、目的に応じた効果的な方法を考えることができた。</p>	<p>久喜市の給食について、伝えたい内容や方法を考えることができた。</p>	<p>伝えたい内容や方法について、友達の考えを知ることができた。</p>

(3) 展開

過程	学習活動	◎伴走者としての関わり ■先端機器活用 ●評価 (方法)
つかむ 5分	<p>1 前時までの振り返りを行い、本時のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>久喜市の給食を他県の学校に伝え、交流するために、どんな資料を用意すればよいだろう。</p> </div>	<p>◎他県の同じ小学生にわかりやすく伝えるための資料をつくることを押さえる。</p> <p>■電子黒板・Googleスプレッドシート (振り返り)</p>
深める 33分	<p>2 各班ごとに学ぶ</p> <p>○思考ツールを活用して班ごとに伝えたい内容とその方法を話し合う。</p> <p style="margin-left: 40px;"><b>他の学校へ伝えたいこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素</li> <li>・メニュー</li> <li>・はぴるん</li> <li>・給食の作り方</li> <li>・人気メニュー</li> <li>・特別メニュー</li> <li>・食材 (旬の食材、地域の食材)</li> </ul> <p>→久喜市の給食について伝え、他県の給食がどうなのか交流するため</p> <p>○各班ごとに課題解決へ向けて制作活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食には、栄養素がバランスよく入っていることをスライドでまとめよう。</li> <li>・5年生に人気のメニューについてアンケートをとって、スクラッチでクイズを作ろう。</li> <li>・給食センターについてもっと調べてみよう。 →情報集と整理分析が入り混じる。</li> <li>・特別メニューについて、Canvaで資料を動画風に作ろう。</li> </ul>	<p>◎伝えたいことやその目的を明確にし、そのために必要な内容であるかという視点で話し合う。</p> <p>●久喜市の給食について伝えたい内容や方法を考えることができる。</p> <p>(振り返り記述・行動観察・発言)</p> <p>◎各チームの進捗状況を把握し、目的に合った内容や方法になっているか問いかける。</p> <p>●今後の取り組みについての計画を順序立てて考えることができる。(発言・振り返り)</p> <p>■Googleスライド・Canva・スクラッチ→制作物</p>
振り返る 7分	<p>4 本時の学びを振り返る(決まったこ・今後の取り組みの確認)</p> <p>5 本時の学びを共有する</p>	<p>◎各チームで今日の活動のまとめをさせ、次時以降の見通しをもてるようにする。</p> <p>■Googleスプレッドシート →学びの振り返り (ポートフォリオ)</p>

<見てほしい視点>

1. 教科横断型のカリキュラムについて  
(各教科での学びが、児童にとって生きた学習の中で活かされていか)  
→本時だけを見るのではなく、1年間を俯瞰して。
2. 児童主体の学びのなかで、本時の課題にせまることができていたか。  
(児童の個別最適な学び、協働的な学びが自走し、教師はファシリテートに徹していたか。)
3. 児童は振り返りシートを活用して、自分の学びを繋げることができていたか。(観察)